

# 自己資本比率規制の第3の柱(市場規律)に基づく開示

銀行法施行規則(1982年大蔵省令第10号。以下「規則」という。)第19条の2第1項第5号二に規定する自己資本の充実の状況について金融庁長官が別に定める事項(自己資本比率規制の第3の柱(市場規律))として、中間事業年度に係る説明書類に記載すべき事項を、当該告示に則り、本章で開示します。

なお、本章中における「告示」は2006年3月27日 金融庁告示第19号、自己資本比率規制の第1の柱(最低所要自己資本比率)を指しております。

## 【自己資本の構成に関する開示事項】

### 自己資本の構成に関する開示事項(連結・単体)

自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(2006年金融庁告示第19号。以下「自己資本比率告示」という。)に定められた算式に基づき算出しております。

また、当行は、国内基準を適用の上、信用リスク・アセットの算出においては標準的手法<sup>(注)</sup>を採用しております。

(注)標準的手法とは、あらかじめ監督当局が設定したリスク・ウェイトを使用して信用リスク・アセットを算出する手法のことです。

### 【連結】

(単位:百万円)

項 目	2021年 9月末	2022年 9月末
コア資本に係る基礎項目(1)		
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	38,465	39,361
うち、資本金及び資本剰余金の額	16,038	16,038
うち、利益剰余金の額	22,476	23,368
うち、自己株式の額(△)	49	45
うち、社外流出予定額(△)	—	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額	62	44
うち、為替換算調整勘定	—	—
うち、退職給付に係るものの額	62	44
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	—	—
コア資本に係る調整後非支配株主持分の額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	766	565
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	766	565
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	395	248
非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	255	170
コア資本に係る基礎項目の額	(イ) 39,944	40,390
コア資本に係る調整項目(2)		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	246	252
うち、のれんに係るもの(のれん相当差額を含む。)の額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	246	252
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	—	—
適格引当金不足額	—	—
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—
退職給付に係る資産の額	321	334
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	—	—
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—
コア資本に係る調整項目の額	(ロ) 568	587
自己資本		
自己資本の額((イ)-(ロ))	(ハ) 39,375	39,803
リスク・アセット等(3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	352,362	375,690
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	2,927	2,758
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	—	—
うち、土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額	2,927	2,758
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	19,438	19,863
信用リスク・アセット調整額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—	—
リスク・アセット等の額の合計額	(ニ) 371,800	395,553
連結自己資本比率		
連結自己資本比率((ハ)/(ニ))	10.59%	10.06%









(個別貸倒引当金の地域別、業種別内訳)

〈連結〉

(単位:百万円)

	2021年度中間期		
	期首残高	当期増減額	期末残高
国内計	2,250	156	2,406
国外計	—	—	—
地域別合計	2,250	156	2,406
製造業	207	54	261
農業、林業	0	△0	0
漁業	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—
建設業	152	△24	128
電気・ガス・熱供給・水道業	2	△0	2
情報通信業	7	△1	5
運輸業、郵便業	25	1	26
卸売業、小売業	239	129	368
金融業、保険業	—	—	—
不動産業、物品賃貸業	89	△3	86
各種サービス業	1,018	104	1,123
国・地方公共団体	—	—	—
個人	409	△7	402
その他	96	△96	—
業種別合計	2,250	156	2,406

	2022年度中間期		
	期首残高	当期増減額	期末残高
国内計	2,140	100	2,241
国外計	—	—	—
地域別合計	2,140	100	2,241
製造業	153	13	166
農業、林業	0	△0	0
漁業	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—
建設業	126	△4	121
電気・ガス・熱供給・水道業	2	△0	2
情報通信業	2	△1	1
運輸業、郵便業	16	3	20
卸売業、小売業	250	△1	248
金融業、保険業	—	—	—
不動産業、物品賃貸業	88	16	104
各種サービス業	1,111	71	1,182
国・地方公共団体	—	—	—
個人	387	4	392
その他	—	—	—
業種別合計	2,140	100	2,241

〈単体〉

(単位:百万円)

	2021年度中間期		
	期首残高	当期増減額	期末残高
国内計	1,972	154	2,127
国外計	—	—	—
地域別合計	1,972	154	2,127
製造業	207	50	257
農業、林業	0	△0	0
漁業	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—
建設業	152	△45	107
電気・ガス・熱供給・水道業	2	△0	2
情報通信業	7	△1	5
運輸業、郵便業	25	△0	25
卸売業、小売業	239	127	367
金融業、保険業	—	—	—
不動産業、物品賃貸業	89	△3	86
各種サービス業	1,018	37	1,056
国・地方公共団体	—	—	—
個人	228	△9	219
その他	—	—	—
業種別合計	1,972	154	2,127

	2022年度中間期		
	期首残高	当期増減額	期末残高
国内計	1,874	86	1,961
国外計	—	—	—
地域別合計	1,874	86	1,961
製造業	150	14	164
農業、林業	0	△0	0
漁業	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—
建設業	106	△0	106
電気・ガス・熱供給・水道業	2	△0	2
情報通信業	2	△1	1
運輸業、郵便業	15	△0	14
卸売業、小売業	249	△1	248
金融業、保険業	—	—	—
不動産業、物品賃貸業	88	16	104
各種サービス業	1,045	65	1,110
国・地方公共団体	—	—	—
個人	212	△4	207
その他	—	—	—
業種別合計	1,874	86	1,961







## (2) 出資等又は株式等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額

〈連結〉

(単位:百万円)

	2021年度中間期	2022年度中間期
売却損益額	36	21
償却額	△2	—

〈単体〉

(単位:百万円)

	2021年度中間期	2022年度中間期
売却損益額	36	△5
償却額	△2	—

## (3) 中間(連結)貸借対照表で認識され、かつ、中間(連結)損益計算書で認識されない評価損益の額

〈連結〉

(単位:百万円)

	2021年9月末	2022年9月末
中間連結貸借対照表で認識され、中間連結損益計算書で認識されない評価損益の額	212	78
中間連結貸借対照表及び中間連結損益計算書で認識されない評価損益の額	—	—

〈単体〉

(単位:百万円)

	2021年9月末	2022年9月末
中間貸借対照表で認識され、中間損益計算書で認識されない評価損益の額	16	△14
中間貸借対照表及び中間損益計算書で認識されない評価損益の額	—	—

7. リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーに関する事項  
リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャーに関する事項

該当ありません。

## 8. 金利リスクに関する事項

〈連結〉

(単位:百万円)

IRRBB1：金利リスク		イ				ロ				ハ				ニ			
項番		△EVE		△NII		△EVE		△NII		△EVE		△NII		△EVE		△NII	
		当中間期末	前中間期末	当中間期末	前中間期末	当中間期末	前中間期末	当中間期末	前中間期末	当中間期末	前中間期末	当中間期末	前中間期末	当中間期末	前中間期末	当中間期末	前中間期末
1	上方平行シフト	2,156	2,104	2,202	2,714												
2	下方平行シフト	1,299	4,972	1,314	714												
3	スティープ化																
4	フラット化																
5	短期金利上昇																
6	短期金利低下																
7	最大値	2,156	4,972	2,202	2,714												
		ホ				ハ											
		当中間期末		前中間期末		当中間期末		前中間期末		当中間期末		前中間期末		当中間期末		前中間期末	
8	自己資本の額	39,803				39,375											

〈単体〉

(単位:百万円)

IRRBB1：金利リスク		イ				ロ				ハ				ニ			
項番		△EVE		△NII		△EVE		△NII		△EVE		△NII		△EVE		△NII	
		当中間期末	前中間期末	当中間期末	前中間期末	当中間期末	前中間期末	当中間期末	前中間期末	当中間期末	前中間期末	当中間期末	前中間期末	当中間期末	前中間期末	当中間期末	前中間期末
1	上方平行シフト	2,156	2,104	2,202	2,714												
2	下方平行シフト	1,299	4,972	1,314	714												
3	スティープ化																
4	フラット化																
5	短期金利上昇																
6	短期金利低下																
7	最大値	2,156	4,972	2,202	2,714												
		ホ				ハ											
		当中間期末		前中間期末		当中間期末		前中間期末		当中間期末		前中間期末		当中間期末		前中間期末	
8	自己資本の額	38,340				37,867											